

バチルス・サブチリス由来のキトサナーゼ 46A、組換え型

Cat. No. NATE-1376

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明

キトサナーゼは、部分脱アセチル化キトサン中のN-アセチル-D-グルコサミンとD-グルコサミン残基の間の $\beta(1,4)$ 結合のエンドヒドロリシスを触媒します。ストレプトマイセス・グリセウス由来のキトサナーゼは、キトサンとカルボキシメチルセルロースの両方を加水分解する能力があります。これは、ムコール目に属する真菌の細胞壁の溶解に使用されます。いくつかの種類の微生物に存在します。

別名

キトサナーゼ; EC 3.2.1.132; 51570-20-8; キトサン N-アセチルグルコサミノヒドロラーゼ

製品情報

種

バチルス・サブチリス

由来

大腸菌

形態

35 mM NaHepesバッファー、pH 7.5、750 mM NaCl、200 mM イミダゾール、3.5 mM CaCl₂、0.02% ナトリウムアジ化物および25% (v/v) グリセロール

EC番号

EC 3.2.1.132

CAS登録番号

51570-20-8

分子量

29.5 kDa

純度

>90% は SDS-PAGE による

濃度

1 mg/mL

最適pH

4.0-7.0

最適温度

50 °C

特異性

キトサン

保管・発送情報

保存方法

この酵素は常温で出荷されますが、-20 °Cで保存する必要があります。